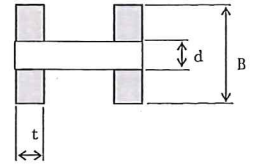
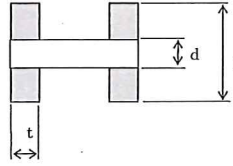


鋼構造物計画設計技術指針（水門扉編）平成21年3月制定〔発行 平成21年11月〕 正誤表

（平成22年12月）

ページ	誤	正
<p>P 1 4 6 6行目 式 (3.8.7-3)</p>	<p>b) ラック棒の断面性能 一例としてピンラック式のラック棒の断面性能を求める。 ・断面二次モーメント</p> $I = 1/12 \times t \times (B^2 - d^2) \times 2 \quad \dots\dots\dots (3.8.7-3)$ <p>ここに、I：ラック棒の断面二次モーメント (cm<sup>4</sup>) t：ラック棒の板厚 (cm) B：ラック棒の幅 (cm) d：ラックピンの直径 (cm)</p>  <p>図 3.8.7-5 ラック棒の断面</p>	<p>b) ラック棒の断面性能 一例としてピンラック式のラック棒の断面性能を求める。 ・断面二次モーメント</p> $I = 1/12 \times t \times (B^3 - d^3) \times 2 \quad \dots\dots\dots (3.8.7-3)$ <p>ここに、I：ラック棒の断面二次モーメント (cm<sup>4</sup>) t：ラック棒の板厚 (cm) B：ラック棒の幅 (cm) d：ラックピンの直径 (cm)</p>  <p>図 3.8.7-5 ラック棒の断面</p>

鋼構造物計画設計技術指針（水門扉編）改訂版（平成 21 年 11 月発行）  
正誤表

R3.5 追加分

ページ	誤	正
P484	<p>式(8.2.3-3)</p> $f_n = \frac{\alpha}{2} \cdot \sqrt{\frac{E \cdot I \cdot g}{W \cdot L^3}}$ <p>ここに、<math>\alpha</math> : スクリーンバーの支持状態による係数            図 8.2.3-4 (a) の場合 : 9.87            図 8.2.3-4 (b) の場合 : 22.7            E : 弾性係数 (N/mm<sup>2</sup>)            I : 断面二次モーメント (mm<sup>4</sup>)</p>	<p>式(8.2.3-3)を以下のように訂正</p> $f_n = \frac{\alpha}{2\pi} \cdot \sqrt{\frac{E \cdot I \cdot g}{W \cdot L^3}}$ <p>ここに、<math>\alpha</math> : スクリーンバーの支持状態による係数            図 8.2.3-4 (a) の場合 : 9.87            図 8.2.3-4 (b) の場合 : 22.7            E : 弾性係数 (N/mm<sup>2</sup>)            I : 断面二次モーメント (mm<sup>4</sup>)</p>